

中也記念館の 20年がつまった 企画展

特集

03 中也記念館の
20年がつまった企画展

特別企画展

「中原中也と日本の詩」

ピックアップイベント

08 YCAM SUMMER LINE UP

山口情報芸術センター

企画展

「MEDIA / ART KITCHEN YAMAGUCHI—
地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」
地域と「メディア」と「アート」の新たな関係性

映像で見る世界のダンス vol.3

「不確定な行為:テクノロジー/ムーブメント/
振付/表現する身体の世界」
「ダンス」×「テクノロジー」の歴史を読み解く

中原中也記念館

中原中也記念館 開館20周年記念事業

中原中也詩英訳パネルディスカッション

中也の詩を英語でどう表現する?

山口市民会館

“みる”コンサート物語

生演奏でおくる音楽影絵劇「セロ弾きのゴーシュ」

美しい影絵と音楽の世界

京都市交響楽団 山口公演

京響サウンドが山口の初秋を彩る

12 any通信

◎アーティストボイス 土屋友紀子(舞台プロデューサー)

◎お先に試写しました 「不気味なものの肌に触れる」

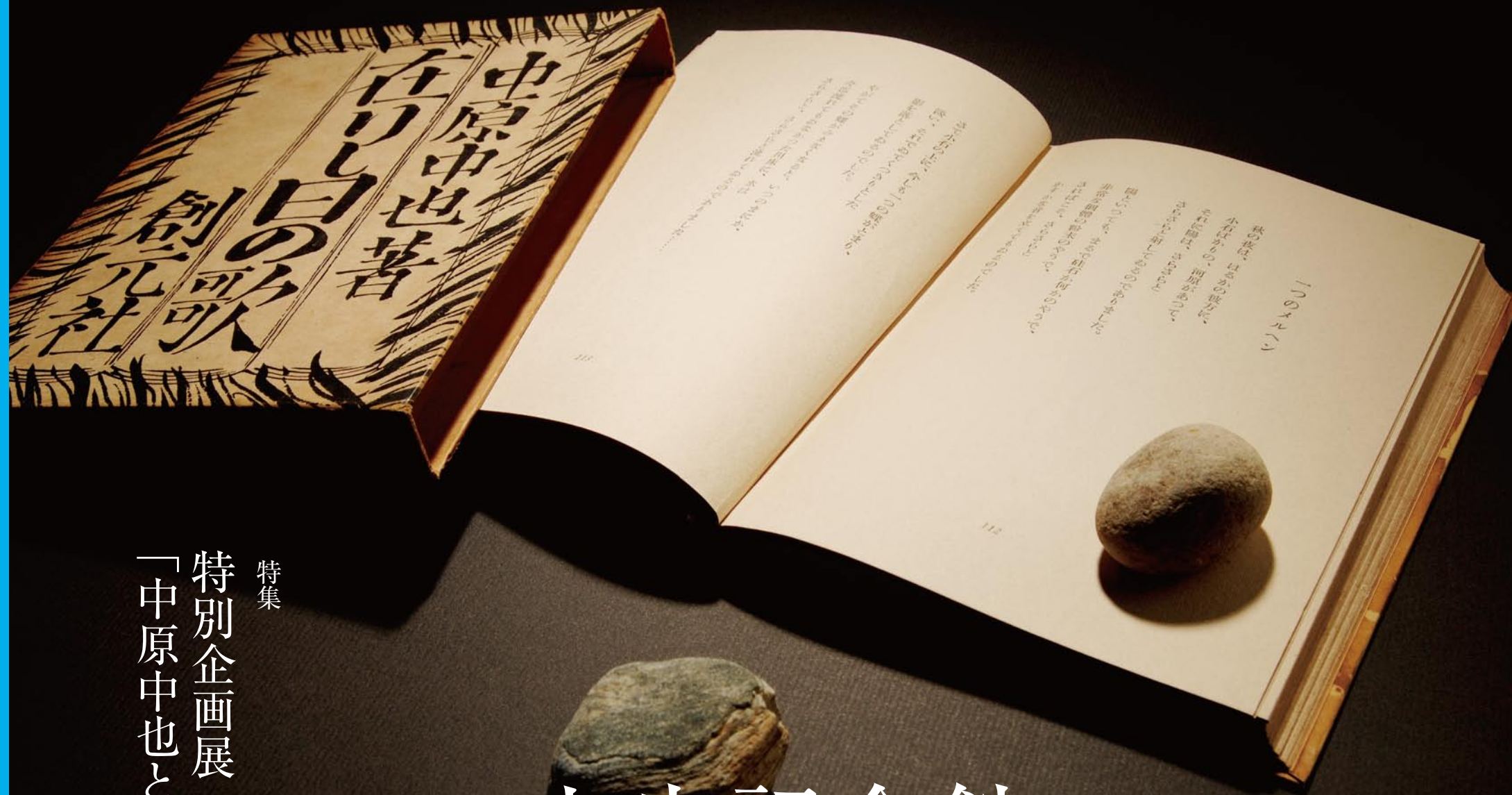
◎いらっしやませ (株)好花園

◎GOOD GOODS 中原中也記念館 開館20周年記念「キャンバストートバッグ」

◎My Favorite 西村 平(山口市民会館 館長)

14 イベントカレンダー 7~9月

INFORMATION



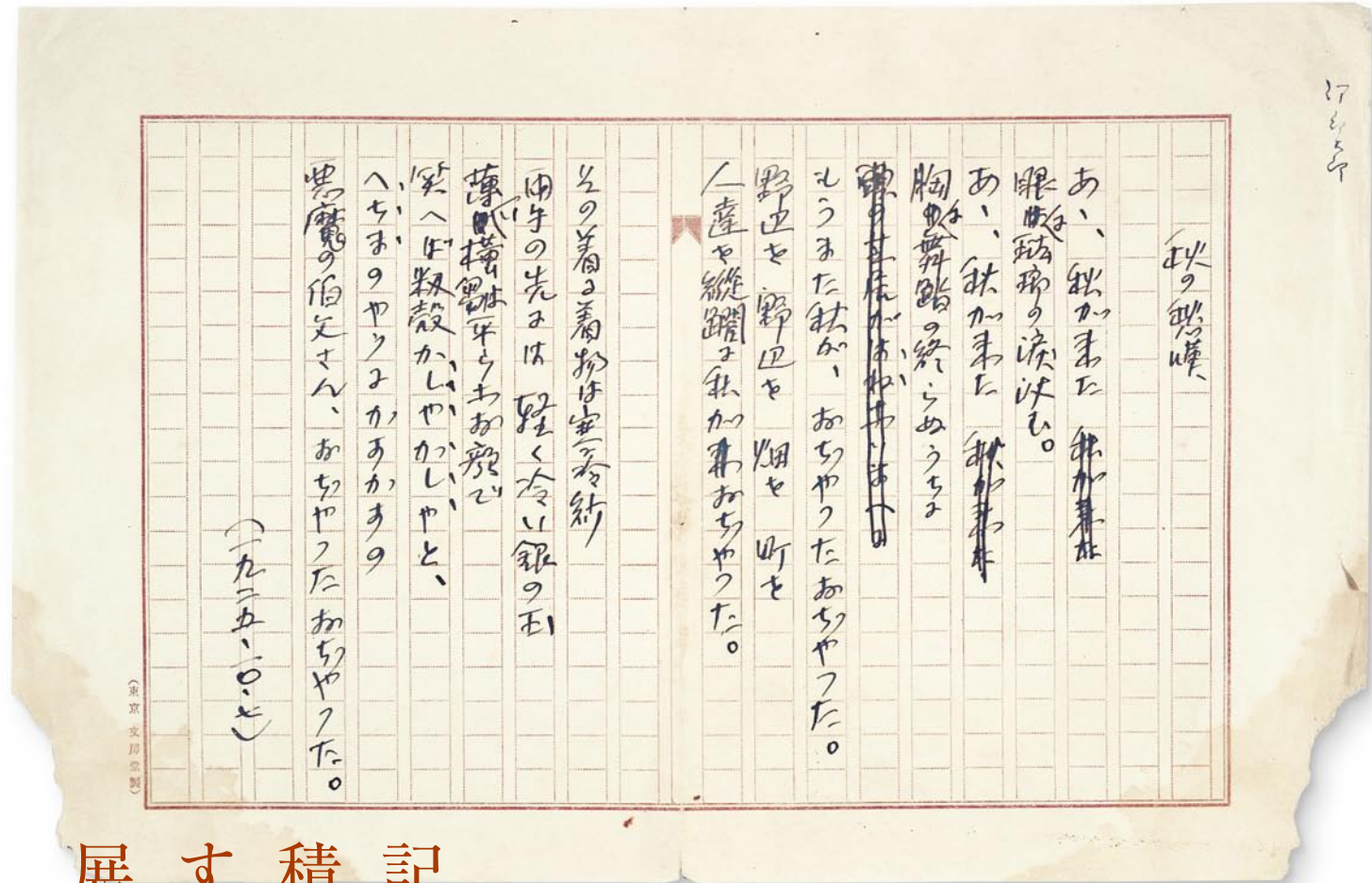
特集
特別企画展
「中原中也と日本の詩」

中也記念館の 20年がつまった企画展



中原中也記念館
開館20周年

今夏から始まる中原中也記念館の特別企画展のタイトルは「中原中也と日本の詩」。「日本の詩」といっても、色んな詩人がいて、色んな時代があったらうからとても大きなテーマだ。いったいどんな展示になるのだろう。そんな思いを抱きながら今回この企画展を担当される池田誠さんにインタビューを敢行。お話を聞いて見えてきたのは、なるほど、中原中也記念館が今年開館20周年を迎えたからこそ挑戦できるテーマなのだと分かった。



中原中也直筆原稿「秋の愁嘆」：秋を擬人化した作品。同じように秋を擬人化した北原白秋「秋」の影響をみる説がある。

記念館が20年で
積み上げてきた
すべての実績が生かされた
展示になる

今回の特別企画展は「中原中也と日本の詩」というタイトルがつけられていますが、どんな企画内容を構想していらっしゃいますか？

厳密に言えば「日本の詩」とは万葉集の頃からの話になってしまいますが、そこは中原中也記念館なので、今回は近現代詩に焦点を絞って紹介する形になります。中也記念館では、とくに2004年のリニューアル後からこれまで、「特別企画展」という形で、毎回深く掘り下げた様々なテーマで中原中也という詩人を紹介してきました。たとえば、小林秀雄や宮沢賢治といった人物だったり、中也が関わった雑誌や西洋音楽などですね。今回はまさにその集大成とも言える特別企画展に

なるのではないかと考えています。これまで個別に扱ってきた様々なテーマが総合的に紹介できる、それだけの大きい内容が今回のテーマにはあります。開館20周年ということで、記念館が20年で積み上げてきた様々な資料や研究の成果、知識、他館との関係など、すべての実績が十分に生かされた展示になる、ということは間違いなく言えます。

それから、中也はもちろん自分よりも前の世代の詩人たちから影響を受けていたし、また同時代の人たちからはどんな存在としてとらえられていたのか、さらに中也に影響を受けた後世の人たちがいて、そういった流れが今回の展示の中で見えてくるはずですよ。

中也に対する批判や否定、その部分もぜひ展示で紹介していきたい。

具体的にはどんな詩や詩人の方の資料を観ることができるのでしょうか？

中也が影響を受けたというところでは、いわゆる日本文学史という教科書で取り上げられるような詩も展示します。もちろんそういった詩を中也は読んでいたわけですから。ただ、その中でも中也が「この人いいね」と言った人は、例えば岩野泡鳴や三富朽葉といった、個性が強いけど、詩の主流派(メインストリーム)からはずれていた人たちですね。そういったいまはちょっと忘れられてしまっているような詩人ではあるけど、中也に強く影響を与えた人たちの存在も紹介します。同時代の詩人としては、これまでも企画展のテーマとして選んできた中也の友人たちも登場します。その中で中也がどんな詩を発表してきたのか、ということもできるだけ紹介するつもりです。ただ一方で、中也に対する批判や否定、その部分もぜひ展示で紹介していきたいと思っています。どういうところが批判されるのか、それに対して中也はどんな考えを持っていたのか。中也を浮き彫りにするのであればその面も見せていかなければいけないと考えています。

中也から影響を受けた詩人としてはどのような方を紹介されるのでしょうか？

中也から影響を受けた詩人たちを全て紹介しようとすれば、大変な数になり、1回の展示では紹介しきれないことになってしまいます。そこで、どういう形でいままでも中也が紹介されてきたのか、後世の詩人たちが中也をどう受け止めてきたのか、そしてどういう形でそれが見えるのかを個別で紹介することが中心となります。たとえば谷川俊太郎さん。「言葉だけに」という詩を発表されていますが、副題が「呈中也」とつけられているとおり、中也の詩からインスピレーションを受けて作られた作品です。中也的な要素が随所に織り込まれているところ、ちゃんと谷川さんの詩になっているところに注目していただきたいですね。ほかにも伊藤比呂美さんや四元康祐さんなど現役で活躍されている詩人の方々を紹介します。

20年で見てきた中原中也とは、ずばり近現代詩の中でどんな詩人だととらえることができますか？

難しい質問ではありますが、そうですね…。これまで雑誌をテーマにした企画展を3回ほど行いましたが、そこから見えてきたことと言えば、やっぱり中也という詩人はどこか他の詩人と違って変わっている。その雑誌のグループの中でも中也はちょっと浮くんですね。



わかる！キーワード

【プロレタリア詩】 労働者階級、無産階級の人々の思想、感情などをうたい、直接的、間接的に社会に対する批判を表現する詩。大正から昭和初期にかけて盛り上がりを見せたが、政府の弾圧により失速した。

参加して
中也のことを
もっと知ろう！

ポエトリー
フェスティバル
in 湯田温泉

2014年9月13日(土)
～10月26日(日)

期間中、中也に関連したトークや参加企画が続々と行われます。

公開講演(共催:中原中也の会)
「世界文学のなかの中原中也」
(講師:福岡健二/詩人)

9月13日(土)
会場:ホテルニュータナカ
【料金】500円

特別講演
(講師:池澤夏樹/作家)

9月14日(日)
会場:ホテル松政
【料金】無料

ブックトーク
(三角みづ紀×暁方ミセイ)

9月15日(月・祝)
会場:喫茶ほな一
【参加費】500円(1ドリンク付)

装幀ワークショップ

9月21日(日)
会場:山口情報芸術センター 多目的室
【参加費】無料(要事前申込)

映画で知る中原中也

10月11日(土)～26日(日) ※週末のみ上映
会場:山口情報芸術センター スタジオC

トークゲストに
大林宣彦監督が登場!

上映作品:「野のなななのか」(2014年)
10月12日(日)

※料金や時間等詳細はwebやチラシをご覧ください。

おれが引っ張っていくよというリーダーでもなく、派閥に属さないアウトサイダー的な存在。実際に彼が作る詩の中身に関しても、近代詩の流れの中には、五七五の韻律や古語はできるだけ使わないようにしようという動きがあった。だから、韻律を排除した詩を作ろうとか、あるいは、芸術の本質を追求するのではなく、思想が先にあってその思想を表現するために詩を使う「プロレタリア詩」の動きもあった。しかし、中也是そのどこからもはずれていく。古語を使ったり、韻律を工夫したり、当時の詩の流れからいえば「逆行」と言われてもおかしくないことを続けていた。そうすると詩の主流からは全部はずれてしまうわけで、だから当時流行していたどの詩の流派からみても中也是「異端」となるわけですね。

意識して中也是 メインストリームに 乗らなかった。そこが 中也是の個性でもあった。

中也是はあえてそういう主流に乗ることから自分を遠ざけていたということでしょうか？

そこは意識してやっていたんだと思いますね。大変孤独なことではあります。個人個人でつながる部分はあるけれども、完璧には相手の意向に沿わなかった。それが中也是の個性でもあったわけですね。今回の展示のポイントともいえるかもしれません。

中也是の独自性は、 日本の近代詩の 積み重ねの中から 生まれたもの

今回の展示を観に来られた方にどんなことを伝えていきたいですか？

話が矛盾することになりますが、中也是のイメージは「天才詩人」だと言う人がいる。天才だから言葉が自然に中也是の体の中

から出てきたんだと。でも実はそうではない。やっぱり中也是も色んな人の詩を読んで勉強して自分の詩を作り上げているんですね。天才詩人というけど、それはちゃんと日本の近代詩の積み重ねの中から生まれた言葉であり、詩なんだ、ということを紹介できればと思っています。

でも一方で、そういう中에서도やっぱり中也是の独自性が出てきてしまうわけで、中也是がべったりメインストリームに乗って、人のまねをして詩を書いているのではなく、そういう要素も吸収しつつ独自性も追求していた。当時すごく人気があったけど、いまは時代の中に埋もれてしまった詩人たちはいっぱいいます。そういう詩人たちと中也是との違いは何なのかというと、のちの時代の我々が読んだ時にもびりびりくるようなものがあるかどうかじゃないでしょうか。中也是の詩は特に口語で語っている詩で、昭和の初期の言葉にしてはいま読んでもそんなに古びていない。そういう生き生きとした感じというのは当時どういう意味を持っていたのか。いま私たちが読める中也是の言葉は、同じ時代の中でどう受け止められてきたのか、どういう特別なものを持っていたのか。中也是はたくさんの詩人の作品を読んで学んでいたからこそ、その中で自分の進むべき道



中原中也是記念館外観 photo:北嶋俊治

をしっかりとみつめて独自の詩を作り出していった詩人なのだ。展示の中で、そこをしっかりと紹介したいと思っています。また、今回の展示のテーマ「日本の詩」は、大きくとらえると「日本の言葉」といえるのではないのでしょうか。詩というのは言葉の芸術。言葉が、詩というジャンルの中でどういうふうに育まれていったのか、言葉をどうして芸術として作り上げていったのか、そこには色んな人たちの様々な試行錯誤があり、その中で生み出されていった言葉であり、その流れに中也是もい

て一つの世界を作り上げていったのだと。そこを観て感じて帰っていただきたいですね。言葉は生きている限り誰もが使うもの。でもこういう場所に来なければ意識しないところでもあります。そんな自分の言葉を考える種にして欲しい。いま日本で生きている人にとっては必ずどこかひっかかる部分があると思うので、ぜひ当館にお越しただいて、普段自分たちが使っている「言葉」について意識するきっかけにしてもらえれば、と思います。

観覧
聴き
みんな
の！

◎地域とともに歩んでこられた様子がよく分かった。(30代男性「中原中也是記念館の20年」より)
◎自然の波の音のようで、でもデジタルチックで、しかし音源はアナログ。デジタルとアナログの境界が分からなくなった。(30代男性 池田亮司「supersymmetry」より)
◎愛を大切に、家族を愛おしんで生きていたことを知り、感動しました。(40代女性「中也是 愛の詩—いとし者へ」より)
◎筆舌に尽くせません。色んな音楽が脳内補完されて聴こえてきました。(30代男性「池田亮司 supercodex [live set]」より)



特別企画展 「中原中也是と日本の詩」

2014年7月31日(木)～9月28日(日)

9:00～18:00(入館は17:30まで)

会場:中原中也是記念館

【入館料】 ()内は20人以上の団体料金
一般 320円(270円) 大学生 210円(162円)
小中高生 160円(108円) 70歳以上 無料

PRESENT

特別企画展のパンフレット並びに
中原中也是記念館開館20周年記念
グッズをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、7月31日(木)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

**A 特別企画展「中原中也是と日本の詩」
パンフレット(3名)**

B 開館20周年記念フレーム切手(3名)

中也是の肖像や詩集、記念館の建物などがデザインされた切手シート。1シート 80円切手×10枚。



C 開館20周年記念タオルハンカチ(3名)

生地はオーガニックコットン100%使用。茶色の帽子のなかに中也是直筆の「20」の文字が刺繍されています。色は白と茶の2種類。
※色はお選びいただけません。
ご了承ください。



【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.89 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

YCAM SUMMER

2014年の夏、あなたはどうぞ過ごす?

LINE UP

YCAMではこの夏も子ども向け、大人向け、家族向けなど色々なイベントを企画しています。
あなたの夏プランのひとつにぜひ加えて、いつもと違う夏休みを過ごしてみたいはいかがでしょう?



LINE UP 子どもたちが自由に遊びを創造。昨年人気を博した公園が再オープン!

1

子どもたちが創造するメディア公園「コロガルパピリオン」
2014年8月1日(金)～31日(日) 10:00～18:00 [会場] 中央公園 [料金] 無料



LINE UP 自分の住む地域のことをアートの視点から考えるシンポジウム

2

国際シンポジウム「Localizing Media Practice—地域化するアートの未来」
2014年8月10日(日) 13:30～17:30 [会場] 山口情報芸術センター ホワイエ [料金] 無料(要申込) ※申込方法等はお問い合わせください。
[パネリスト] スージー・スレイマン(マレーシア)、イ・スジョン(韓国)、ヴェンザ・クリスト(インドネシア)、シュレイアス・カルレ(インド) [モデレーター] 会田大也(東京大学特任助教、元-YCAM)、阿部一直(YCAM)

LINE UP 毎年恒例の大人気企画。夜空の下、みんなで一緒に映画を観よう!

3

真夏の夜の星空上映会
2014年8月15日(金)～17日(日) 各日19:30頃～ [会場] 中央公園 [料金] 無料

上映作品



8月15日(金)
「雨に唄えば」



8月16日(土)
「パンダコパンダ」
「パンダコパンダ
雨ふりサーカス」
2本連続上映
「パンダコパンダ」©TMS



8月17日(日)
「クロニクル」
©2011 Twentieth Century Fox



P I C K U P E V E N T ! S U M M E R 2 0 1 4
ピックアップイベント

山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

企画展

「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI—地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」

2014年7月5日(土)～9月28日(日) 10:00～19:00
会場:スタジオB、ホワイエ、2Fギャラリー ほか

地域と「メディア」と「アート」の新たな関係性



参加アーティストのリサーチの様子(2014年3月)

2013年から2014年にかけて、日本と東南アジアのアーティストとキュレーターの協働によって、東南アジア4か国で開催された国際交流基金主催の展覧会「MEDIA/ART KITCHEN(メディア・アート・キッチン)」。それをコミュニティデザインの視点から発展させた企画

画展が、この夏YCAMで行われます。東南アジアと日本のアーティストが山口に長期間に渡って滞在し、オープンな活動の場「ラボラトリー」を会場内に開設。このラボラトリーを通じて、様々な立場の市民との協働によって、地域社会に横たわる課題を共有し、新たなコミュニティの創出を目指していきます。「メディア」と「アート」の新たな可能性を検証しつつ、アジア各国の経済・産業・政治・文化の現在を描き出します。

わたしはココに注目する!

本展開催にあわせてワークショップにライブ、国際シンポジウム、また定期的なプログラムも実施。これらの関連企画と展覧会を通して、様々な角度からアジア地域の現在を捉える試みとなっています。どうぞあわせてお楽しみください。

料金 | 無料

[参加アーティスト・参加機関] HONF Foundation(インドネシア)、ヴェンザ・クリスト(インドネシア)、パニ・ハイカル(シンガポール)、オペラシ・キャッサバ(マレーシア)、田村友一郎(日本)、YCAM地域開発ラボ(日本)

映像で見る世界のダンスvol.3

「不確定な行為:テクノロジー／ムーブメント／振付／表現する身体の歴史」

2014年7月19日(土) 16:30～19:30
会場:スタジオA

「ダンス」×「テクノロジー」の歴史を読み解く



今回の講師クリス・サルター

舞台芸術の歴史と、映像によって語られる身体表現の魅力を紹介する上映会+レクチャーシリーズ「映像で見る世界のダンス」。これまでに「ピナ・バウシュ」、「土方巽」といった現代のダンスに多大な影響を与え続けている振付家・ダンサーを取り上げ、その作品を上映。また評論家や関係アーティストを招いてトークイベントを

行うなど、奥深い身体表現の世界を紹介してきました。3回目となる今回は、講師にアーティストで研究者のクリス・サルターを招き、テクノロジーの発展によってダンスの作り方やダンスに対する理解がどう変わってきたのか、その歴史を貴重な映像とともにひも解きます。

わたしはココに注目する!

過去2回では、後生にまで大きな影響を遺したアーティストを選び、その作品やインタビュー映像の上映、トークイベントを開催してきました。3回目は、最先端のテクノロジーと身体の関係に迫ったアプローチで、まさにYCAMだからこそ経験できる濃い内容に。さて、どんな映像と話が飛び出すのか?!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席自由 前売 一般 1,000円 any会員・特別割引 25歳以下 800円
当日 1,500円

[講師] クリス・サルター(アーティスト/コンコルディア大学[カナダ]准教授)

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

mini PICKUP!

sound tectonics #14

2014年8月2日(土)・3日(日)
各日14:00開演
会場:山口情報芸術センター
スタジオA ほか



大友良英によるライブ・パフォーマンスの様子(2008年)

左のPick Up!記事で紹介した「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI」の関連ライブを開催。出演するのは、作曲家でギタリストの大友良英がアジアのミュージシャンたちと編成する「大友良英FENオーケストラ」。2日は館内全体を使って、3日はスタジオAでライブ・パフォーマンスを披露します。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由
前売 一般 2,000円
any会員・特別割引 1,800円
25歳以下 1,600円
当日 2,500円
※2日はチケット不要(無料)

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
8月9日

オフィス300公演 「天使猫」

2014年11月8日(土)・9日(日)
各日14:00開演
会場:山口情報芸術センター
スタジオA



女優・渡辺えりが作・演出を手がけ、宮沢賢治の半生を、彼が残した童話などの作品をモチーフに音楽劇として描いた舞台「天使猫」。2012年に初演され、賢治の生き様や作品が時空を超え、現代にも訴えかける力強い作品として注目を集めました。—宮沢賢治の作品世界に迷い込んだ一匹の猫。そこから目には見えない大切なものが見えてくる。

[チケット発売]

any会員先行予約 8月9日(土)～
一般発売 8月23日(土)～
[料金] 全席指定
前売 一般 5,000円 ほか

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

中原中也記念館 開館20周年記念事業

中原中也詩英訳パネルディスカッション

2014年7月13日(日) 14:00~16:00

会場:ホテル松政

中也の詩を英語でどう表現する?



伊藤比呂美

日本の近代詩を代表する詩人・中原中也。国内では広く読まれています。海外での評価に目を向けてみると、翻訳詩集の数が少ないこともあり、中也の詩はあまり知られていません。

このパネルディスカッションは、日米両国で活動続ける伊藤比呂美をコーディネーターとして、ジェフリー・アングルス、アーサー・ピナード、四元康祐らの詩人・翻訳家が共同で中也の

詩を英訳するという初めての試みです。2日間のワーキングで討議を行ったのち、絞り込まれたいくつかの詩や問題について7月13日のパネルディスカッションで議論します。英訳によって初めて見えてくる中也の詩の表現の特質や、日本語・英語それぞれの詩的表現の特質などを浮き彫りにします。

わたしはココに注目する!

中也の詩といえば、「ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん」(「サーカス」)に代表される独特のオノマトペやリズム。これを英語に翻訳するとどうなるのか? 英語というフィルターを通すことで、新たな中也詩の世界が見えてくるかもしれません。

料金 ■ 無料 ※事前予約不要

【コーディネーター】伊藤比呂美 【パネリスト】ジェフリー・アングルス、アーサー・ピナード、四元康祐

検定 中也



中原中也詩集「山羊の歌」

Q 1934(昭和9)年に刊行された中也の第一詩集『山羊の歌』の装幀は、詩人・彫刻家の高村光太郎によるものです。高村装幀の『宮沢賢治全集』を気に入った中也が、詩人・草野心平の仲介で装幀を依頼し、無償で引き受けてもらえることになりました。中也はそのお礼として高村にあるものを贈り、草野は「あれはあんなような男だったが変に律義なところがあつた」と回想しています。さて、中也は何を贈ったのでしょうか。

- 1 赤ワイン
- 2 チョコレート
- 3 チーズ

答えは14ページ

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

“みる”コンサート物語 生演奏でおくる音楽影絵劇「セロ弾きのゴーシュ」

2014年7月27日(日) 15:00開演 (14:00開場)

会場:大ホール

美しい影絵と音楽の世界

生演奏と影絵劇で、古今東西の名作を親子で楽しむ“みる”コンサート物語。宮沢賢治が生んだ傑作「セロ弾きのゴーシュ」を、ピアノ・ヴァイオリン・チェロの三重奏とともに、生き生きと展開していく影絵劇と、ひとり役も演じ分ける語りによって、臨場感あふれるステージを作り出します。

金星音楽団の楽員であるゴーシュは、町の音楽会での演奏を10日後にひかえ、セロ(チェロ)を上手に弾くことができずに楽長に怒られてばかり。家に帰っても一人で練習を続けます。そんなゴーシュの部屋に夜ごと様々な動物たちが訪れ、セロを弾いて欲しいと注文



をつけるのでした…。

子どもから大人まですべての方へ感動をお届けします。どうぞお楽しみに!!

わたしはココに注目する!

今回の影絵劇をお届けするのは、1982年に設立、影絵・お芝居・音楽などを中心に子どもたちのために作品を作り続けている影絵劇団かしの樹。全国各地の小学校や劇場にとどまらず、NHKのテレビ番組「おとぎのへや」「おはなしのくに」でも作品を上演するなど、評価の高いその美しい影絵は必見です!!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席自由 1,000円 ※3歳未満入場不可

京都市交響楽団 山口公演

2014年9月7日(日) 17:00開演 (16:00開場)

会場:大ホール

京響サウンドが山口の初秋を彩る



京都市交響楽団(京響)は、1956年に創立。日本唯一の自治体直営オーケストラとして活躍を続けています。そして山口でも市民会館のこけら落とし公演として、43年前にその素晴らしいサウンドを披露してくれました。そんな京響が再び山口にやってきました。今回は、ソリストにジャズピアノの巨匠・山下洋輔を

迎え、ガーシュインの名曲「ラプソディ・イン・ブルー」を披露。他にも誰もが耳にしたことのある名曲、ピゼーの「カルメン第1組曲」とベートーヴェンの「交響曲第7番」といったオーケストラの魅力を最大限に発揮することのできるプログラムをお届けします。日本を代表するオーケストラへと成長を遂げた京都市交響楽団の繊細かつ深みのあるサウンドが、山口の秋を美しく鮮やかに彩ることでしょう。

わたしはココに注目する!

何と言っても一番気になるのは、映画やテレビドラマですっかりおなじみとなった「ラプソディ・イン・ブルー」。ジャズとクラシックの融合に成功した歴史的名曲が、山下洋輔さんのピアノと京響によってどう再現されるのか?!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席指定 前売 S席 一般 6,000円
A席 一般 5,000円 学生各半額 ※any会員は一般料金より各500円引き(1会員4枚まで)
当日 S席 6,500円 A席 5,500円

【演奏】京都市交響楽団、広上淳一(指揮)、山下洋輔(ピアノ)

【曲目】ピゼー:カルメン 第1組曲/ガーシュイン:ラプソディ・イン・ブルー/ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調 op.92

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。

■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。

■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

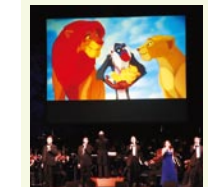
先行チケット
発売情報
早チケ any会員
先行予約
7月5日

ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会2014

2014年10月24日(金)

19:00開演

会場:山口市民会館 大ホール



ステージ写真は過去の公演です

昨秋に続き、今年も山口での上演が決定したディズニー・オン・クラシック。今回のテーマは「Life Love Light」。

めぐりゆく生命、親子の愛や友情を描いた「ライオン・キング」をはじめ、本年度大ヒットした話題作「アナと雪の女王」など、心躍るディズニーの名曲の数々を、NYプロドウェイで活躍するボーカリストたちとフルオーケストラでお届けします。

【チケット発売】

any会員先行予約 7月5日(土)~
一般発売 7月26日(土)~

【料金】全席指定

前売 一般 S席 8,300円
A席 6,700円

※any会員は各500円引(1会員4枚まで)

先行チケット
発売情報
早チケ any会員
先行予約
8月9日

フィリップ・ジャンティ 「忘れな草」

2014年11月11日(火)

18:30開演

会場:山口市民会館 大ホール



夢の配達人フィリップ・ジャンティが、今秋新作とともに山口に登場! ジャンティが

創り出す不思議で幻想的な世界は、私たちを新しいイマジネーションの旅へと誘います。現実と幻想が交差する舞台空間から、いざ出発! あなたにとって一生忘れない夢旅行となることでしょう。

【チケット発売】

any会員先行予約 8月9日(土)~
一般発売 8月23日(土)~

【料金】全席指定

前売 一般 S席 6,000円
A席 5,000円
B席 4,000円
25歳以下各半額

※any会員は各500円引(1会員4枚まで)

観た!
みんなの
レビュー!

◎86歳でいらっしやるんですか!? 人間の深みと大きさを感じさせてください、とても心にしみ入りました。

(60代女性 「バウル・パドゥラ=スコダピアノ・リサイタル」より)

◎難しそうだったけど、光・音がきれいだったよ。ずっと観ていました。美しい作品だと思いました。(30代女性 池田亮司[supersymmetry]より)

◎20年の重みがずっしりと感じられた! (20代男性 「中原中也記念館の20年」より)

any通信

この夏、YCAMに
新しいカフェがオープン!



中也の誕生日に
たくさんのイベントが行われました。



川上未映子×穂村弘トークセッションの様子

4月29日、詩人・中原中也の誕生日となるこの日、山口市内で様々なイベントが企画されました。お昼から中也記念館の前庭で行われた生誕祭「空の下の朗読会」は、例年を上回る参加者の数。後半のコンサートで登場した詩人の谷川俊太郎さん×音楽家の谷川賢作さん親子のパフォーマンスも見逃すまい

と、多くの方が集まっていました。夕方からは、山口市民会館で第19回中原中也賞受賞者・大崎清夏さんへの贈呈式が行われ、こちらにも多くの方が参加。続く川上未映子さんと穂村弘さんによるトークセッションでは、2人の軽妙かつ示唆に富んだ話に、みなさん引き込まれているようでした。

子どもたちが詩を創作。

中原中也記念館開館20周年記念事業の一つとして、5月4～6日の3日間、クリエイティブ・スペース赤れんがで「ことばとあそぼう～子どものための詩作ワークショップ～」を開催。講師は、中原中也賞受賞詩人で福島を拠点に活躍する和合亮一さんと、ダンサーの唐沢優江さん。参加した子どもたちは、机に座って詩を書くだけでなく、外に出かけたり、ダンスを見たりしながら、身体で感じたことを

言葉にして詩を創作しました。最終日には発表会を行い、思い思いに作った詩を朗読。ここで発表された詩は記念館の読書コーナーにも展示されました。



ダンスを見ながら詩作をする子どもたちの様子

お先に
試写し
しました



「不気味なものの肌に触れる」

(2013年/日本/54分/HD/カラー)

【監督】濱口竜介 【出演】染谷将太、渋川清彦、石田法嗣、瀬戸夏実、村上淳、河井青葉、水越朝弓

初めまして。新しくYCAMシネマのプログラムを担当することになりました杉原です。どうぞよろしくお願い致します。

7月からは【金曜夜のYCAMシネクラブ】という企画を始めます。山口では観る機会の少ない、レアな作品をセレクトして上映します。今回紹介するのは「不気味なものの肌に触れる」。主演は「WOOD JOB! 神去なあなあ日常」が全国公開中、「寄生獣」などの話題作がこれから目白押しの染谷将太さん。そんな売れっ子な彼が、なんと本作ではコンテンポラリーダンスに挑戦しています!

染谷さんと、もう一人の主演、石田法嗣さんの上半身裸のダンスシーンで幕を開ける本作は、人と人が「触れる」ということが、様々な場面でスリリングに展開します。観ているうちにまるで登場人物に触れているような、不思議な感覚を味わえます。

監督の濱口竜介は1978年生まれの新鋭。

染谷さんや豪華俳優陣と、インディペンデントならではの親密な撮影環境で紡ぎだされた、他にはない、今だからこそ観てもらいたい作品です。54分の上映時間ですが、エンドロールでエリック・サティの「Je te veux」が流れるまで、終始緊張感が溢れています。

ところで「不気味なもの」って一体何なのか、それはご自身の目でご確認ください。

これからも他では観られない多彩な上映ラインナップを組んでいきますので、末永くYCAMシネマをごいきよ!

杉原永純 (YCAMシネマ担当)

2014年7月11日(金) 19:30～
8月1日(金) 19:30～
2日(土) 18:30～
9月12日(金) 18:00～
会場:山口情報芸術センター スタジオC
【料金】一般1,000円
any会員・特別割引・25歳以下 500円

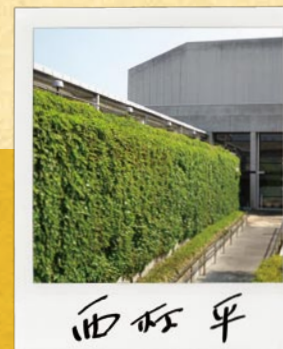


「不気味なものの肌に触れる」作品紹介

千尋(染谷将太)は父を亡くして、腹違いの兄・斗吾(渋川清彦)が彼を引き取る。斗吾と彼の恋人・里美(瀬戸夏実)は千尋を暖かく迎えるが、千尋の孤独は消せない。千尋が夢中になるのは、同い年の直也(石田法嗣)とのダンスだ。しかし、無心に踊る彼らの街ではやがて不穏なできごとが起こりはじめる…。

My Favorite

今から40年も前、水をやっても肥料をやってもなかなか育たなかった市民会館中庭の壁面を飾るツタ。時が過ぎ、今では季節に合わせて見事に染まるツタ。市民会館の歴史とともに生きています。



西村平 (山口市民会館 館長)

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

土屋友紀子 (舞台プロデューサー)

児童文学としていま人気の高い「ルドルフとイッパイアッテナ」の物語をミュージカルカンパニー イッツフォーリーズが舞台化。昨年の12月には、山口市民会館でも上演され、たくさんの感動を与えてくれました。その制作担当として全国各地をまわる土屋友紀子さんにとって、山口公演は格別の思いがあったようです。

また必ず戻ってきたい町の一つです。



私の最初の山口の印象は関門海峡でした。小学校の卒業旅行として、祖母とお墓参りのために小倉まで、行きは神戸まで新幹線、神戸からフェリーで小倉へ、帰りは夜行列車で大阪まで行き、そこから飛行機で東京という乗り物づくしの旅をしました。関門

海峡を船でくぐった時の感動を今も覚えています。その後も、仕事とプライベートで小郡、湯田温泉、宇部、下関、菊川、秋吉、徳山、柳井、岩国、長門、そして萩と訪れ、どの町にも素敵な出会いと思い出が残っています。その中でも昨年の12月、3年越しのこどもステーション山口さんの熱意で実現できた、山口市民会館でのミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」公演は感無量でした。待っていてくださった方々、懐かしい湯田温泉の街並み…公演で訪れるというより、また戻って来られたという思いの方が大きかったです。そして公演の後の瀬祭が美味しかったこと…。また必ず戻ってきたい町の一つです。

親と子どものミュージカル 「ルドルフとイッパイアッテナ」 2013年12月21日 会場:山口市民会館 大ホール



子どもから大人まで多くの人に愛される斉藤洋原作の児童文学「ルドルフとイッパイアッテナ」を、作曲家のいずみたくとイッツフォーリーズがミュージカル作品として舞台化。各地で高い評価を集めたこの作品を、山口の子どもたちにも観てもらおうと、昨年のクリスマス時期に山口市民会館で上演。2匹の猫とその仲間たちが、力をあわせて敵に立ち向かっていく姿や、温かい友情など、観に訪れた親子にたくさんの感動をプレゼントすることができた公演となった。

土屋友紀子 TSUCHIYA Yukiko

東京都出身。立教大学文学部心理学科卒。作曲家いずみたくが創設したミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ(株式会社オールスタッフ)に1993年入社。現在、ファミリー作品から一般対象のミュージカル企画制作と全国公演を手掛けるとともに、子どもたちのワークショップの企画や、市民ミュージカルの製作にも力をいれている。

いらしゃいませ



トルコキキョウ
1本 350円

お花と笑顔を届けるフラワーショップ

季節ごとの花や鉢植えをたくさんとりそろえている商店街の老舗花屋「好花園」さん。今日も大勢のお客さんが訪れ、思い思いのお花やブーケ、鉢植えなどを購入・注文していきます。私もたまには部屋に飾って花と会話なんてしてみようかな…。さてさてどれがお勧めですか? お、この「トルコキキョウ」は、花びらが幾重にも重なり、淡いピンクから白色のグラデーションがすごく綺麗。しかも、春から夏にかけて花を咲かせるということで、これからも楽しめる切り花の一つだとか。よし、じゃあこれにします! お花は誰かへ贈っても、誰かから贈られても嬉しいもの。たくさんの笑顔がここで花開いています。

(株)好花園

山口市中市町7-26 TEL.083-922-3416
営業期間:9:00～19:00(日曜日のみ17:00まで)
休業日:年末年始のみ
※any会員の方は全品1割引。

GOOD GOODS



中原中也記念館 開館20周年記念
キャンバストートバッグ

機能的なトートバッグのおめみえ

現在、中原中也記念館には、開館20周年を記念した様々なグッズが登場しています。そのなかでも人気の高いグッズが今回ご紹介するトートバッグ。帽子のなかに中也直筆の「20」の文字があしらわれたシンプルでカッコいいデザイン。キャンバス生地ですら丈夫だし、何と言っても嬉しいのが、たくさん荷物を詰め込める容量の大きさ。色も2種類あり購入者を悩ませているようです。便利な内ポケットもついているので、小さい荷物(ペンや携帯電話など)が鞆のなかで迷子になる心配もありません。これがあればお出かけするのが楽しくなること間違いなし!

価格:各1,500円(税込)
サイズ:約 横40cm×高さ35cm×幅10cm
容量:約10リットル 色:ナチュラル、ネイビー

しみ聴観
びんいた
ユなた!
の!

◎気品に満ちた演奏でした。年齢的なこともあり、技術的なところの劣えも思いましたが、若い年齢が感じられました。(60代男性 「ハバル・パドゥラ=スコダピアノ・リサイタル」より)
◎音とリズムだけでなく、映像もマッチングしていて、1時間があつという間でした。(20代女性 「池田亮司 supercodex [live set]」より)
◎後半のハイドンが抜群に感動した。(50代女性 「ハバル・パドゥラ=スコダピアノ・リサイタル」より)

しみ聴観
びんいた
ユなた!
の!

◎スタジオAとBが繋がっていて、Bで測定した数値の結果がAに反映されていたらもっとおもしろかったかも。(30代男性 池田亮司[supersymmetry]より)
◎部分的にでも中也さんの思いに触れた。山上のひととき、いいですね。(30代男性 「中也 愛の詩ーいとし者へ」より)
◎来日最後ということなので、いままで感動を与えてくださったことに感謝しています。長い間ありがとう。(60代女性 「ハバル・パドゥラ=スコダピアノ・リサイタル」より)
◎1階の会場は入った瞬間すぐに異空間を感じました。まるで宇宙船の窓から外をのぞいているような…。(池田亮司[supersymmetry]より)

7 July

8 August

9 September

掲載内容は2014年6月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM)
http://www.ycam.jp/

アート	5 「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI— 地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」(本誌P9参照) ※8/2、3関連ライブあり(本誌P9参照)	1 子どもたちが創造する屋外メディア公園 「コロガルバビリオン」(本誌P8参照)	31	28
シネマ	5 6 映画で見る／知るアジア 12 13 映画で見る／知るアジア 20 映画で見る／知るアジア 27 映画で見る／知るアジア 9 10 真夏の夜の 星空上映会 (本誌P8参照) 23 24 映画で見る／ 知るアジ ア 29 31 文化庁優秀映画 鑑賞推進事業 6 7 YCAM爆音映画祭	1 2 金曜夜のYCAMシネクラブ 8 金曜夜のYCAMシネクラブ 26 札幌国際芸術祭2014関連上映 「あなたの都市の上に草は生える」	5 金曜夜のYCAMシネクラブ 12 オトナのためのレイトショー 6 7 オトナのためのレイトショー 11 14 YCAM爆音映画祭 19 21 YCAM爆音映画祭	19 21 YCAM爆音映画祭
その他	11 金曜夜のYCAMシネクラブ 18 金曜夜のYCAMシネクラブ 25 金曜夜のYCAMシネクラブ 19 映像で見る世界のダンスvol.3 (本誌P9参照)	1 2 金曜夜のYCAMシネクラブ 8 金曜夜のYCAMシネクラブ 26 札幌国際芸術祭2014関連上映 「あなたの都市の上に草は生える」 10 国際シンポジウム「Localizing Media Practice —地域化するアートの未来」(本誌P8参照)	22 24 オトナのためのレイトショー 29 31 オトナのためのレイトショー	13 14 オトナのためのレイトショー

山口市市民会館
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

3 なごみーず アコースティック ナイト in 山口	27 “みる”コンサート物語 生演奏でわかる 音楽影絵劇「セロ弾きのゴーシュ」 (本誌P11参照)	7 京都市交響楽団 山口公演(本誌P11参照)
-------------------------------	--	----------------------------

中原中也記念館
http://www.chuyakan.jp/

開催中 第11回常設テーマ展示「中也 愛の詩—いとしい者へ」	開催中 企画展I 「中原中也記念館の20年」	27 特別企画展「中原中也と日本の詩」 (本誌P2~7参照)	31 特別企画展「中原中也と日本の詩」 (本誌P2~7参照)	22 中原中也を読む会	28 中原中也の会 第19回大会 公開講演(講師:福岡健二) 会場:ホテルニュータナカ	13 特別講演(講師:池澤夏樹) 会場:ホテル松政	26 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術 センター
-----------------------------------	------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------	--	---------------------------------	-------------------------------------

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ(要事前登録・24時間受付)

<http://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りは近隣のセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では
託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。
お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、

2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケット
インフォメーションまたは山口情報芸術センターに
てお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。
事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで

(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにて
お申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

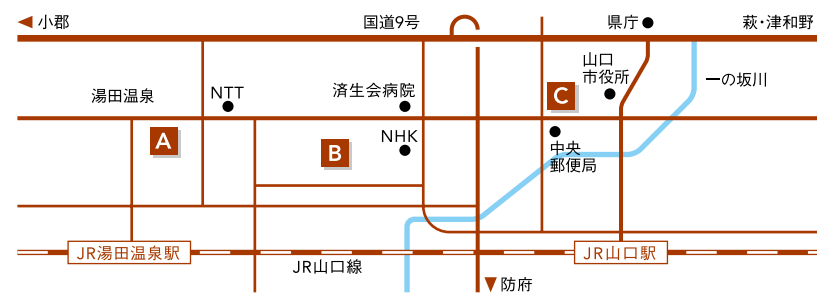
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演
や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。
公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、
情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中国町7-7(山口情報芸術センター内)

TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216

http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

気がつけば、今号で89号目。次号は90号…となると、もうちょっと先
ではあるけれど、100号の大台が目の前に迫っているような気になり
ます。気を引き締めて、これからもみなさんにしっかりと情報をお届け
したいと思います!! [M.D]

前号特集のスコダさんのリサイタル、ほんの少し鑑賞しただけですが
感動しました! 巨匠に失礼ですけど、楽しそうにピアノを弾く姿が
キュート。私の周りも年齢を重ねた方ほどお元気です。[T.I]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

B 山口情報芸術センター(YCAM)

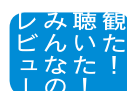
〒753-0075 山口市中国町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市市民会館

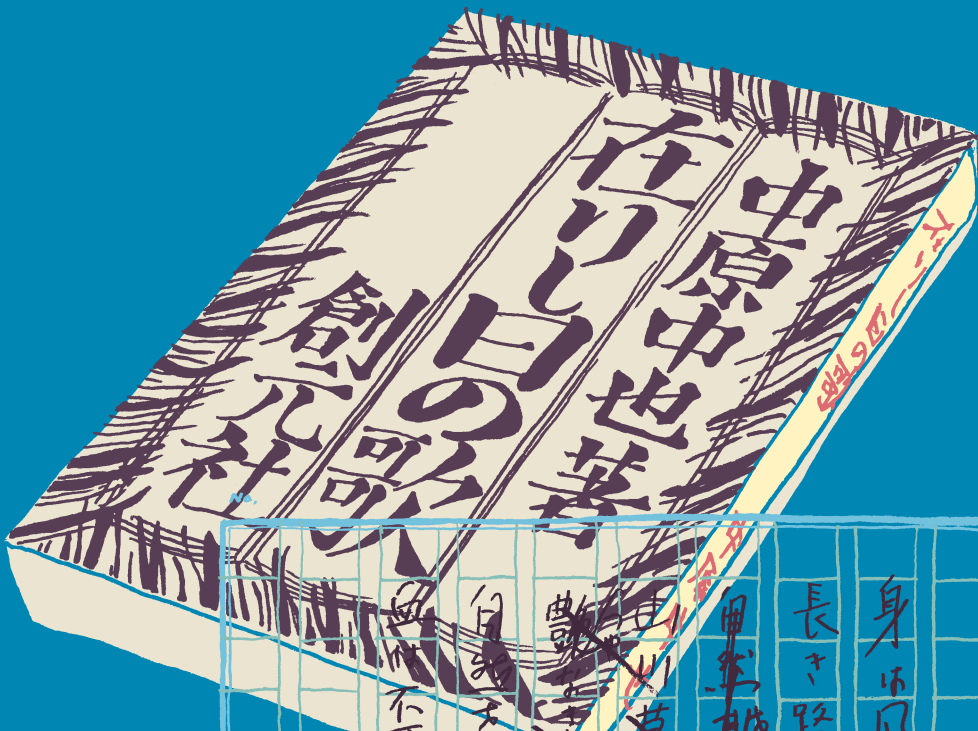
〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp



A. ④ チーズ
(種類はエダムチーズ。オランダの代表的なチーズで、昭和初期には輸入品が売られていました。)



◎耳をつんざくようなパルス音と眼球すら揺るがす重低音が、スクリーン上で繰り広げられる無機質な明滅する映像と一つになって、完全に呑み込まれてしまいました。
(30代男性 「池田亮司 supercodex [live set]」より)
◎「母・妻・子への愛」は新鮮でした。晩年に家族愛に恵まれて良かった、と思いました。(60代女性 「中也 愛の詩—いとしい者へ」より)
◎座ってじっとしているはずなのに体を激しく動かして揺れているような感覚がたまりませんでした。(20代女性 「池田亮司 supercodex [live set]」より)



希望ははやも空遠く
 運了、次女我は見えず
 凡は~~あつ~~中 艇の荒るるに~~あつ~~あつ
 我や白衣の心と

身は凡にひらめく職とも
 長き路上におい~~あつ~~あつ
 山手~~あつ~~あつ
 木に思ひを~~あつ~~あつ
 豊~~あつ~~あつ
 白~~あつ~~あつ
 友に安心立命
 不可思~~あつ~~あつ
 歌をかなづる

g.l. 4. 1933.

公益財団法人
 山口市文化振興財団
 Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

中原中也
 山手の歌